

市場の活性化を考える会（第3回）議事概要

- 【開催日時】 令和元年11月29日（金）14：00～17：00
- 【場 所】 第一本庁舎北塔42階 特別会議室D
- 【議 題】 ○市場の活性化に向けた論点整理
- ・第2回会議での各委員発言の振り返り
 - ・第10次東京都卸売市場整備計画における主な取組について
- 委員プレゼンテーション

【議事概要】

（1）資料説明

第2回会議での各委員発言、第10次東京都卸売市場整備計画の主な取組について、事務局より説明

（2）主な発言

◆第10次東京都卸売市場整備計画における主な取組について

- ・ 経営計画の議論においても、市場内外の環境を捉えて策定した経営戦略を踏まえ、各市場の機能や特徴に応じた市場活性化をしっかりと検討するべきだ。
- ・ 各市場における経営戦略の策定に当たっては、個々の市場の特徴とともに、都内各市場、さらには首都圏における市場間相互の関係なども踏まえて、検討していくべきだ。

（3）委員プレゼンテーション

①「畜産生産・流通の現状と課題」（北原委員）

- 畜産生産現場における技術革新の状況や、安全・安心対策に向けた設備投資の現状、環境規制等への対応などについて報告
- 卸売市場と産地との連携の重要性や、商物分離を活かした物流の効率化などについて提言

②「わが国とEU主要国の青果物流通の現状－卸売市場を中心に－」一瀬主事研究員（株式会社農林中金総合研究所）

- フランス、オランダ及びスペインの卸売市場の現状、特にスペインでは、伝統的食品小売業の存在を背景に、公的セクターにより運営されている卸売市場で活発な取引が行われている現状について報告
- 卸売市場における公的セクター関与の必要性や卸売市場を核として加工業や冷蔵業などを周辺に配置する食品産業クラスターを形成することが卸売市場

の発展に寄与していることなどについて報告

(委員からの主な意見)

- ・ 市場の役割は、産地や消費構造に影響を受けるものであり、スペインのように、生鮮食料品等を中心とした食の多様性が重視され、かつ中小小売業者が活躍する国では、卸売市場制度が重要な役割を果たしているということは、都の卸売市場の活性化を考えるうえで重要な示唆だ。
- ・ スペインにおいて、食品産業クラスターを構築していることは興味深い。都の市場については、産地市場と連携を図ることにより、消費者ニーズへの対応と物流の効率化に貢献できるのではないか。
- ・ 卸売市場において、様々な方策による収入の多元化は、卸売市場の安定的な運営の確保を考えていくうえで参考となる。

(4) 今後の予定について

- ・ 産地支援や食の安全安心対策などを通じた商品の差別化などに取り組む(株)丸勘山形青果市場(山形県山形市)を12月26日(木)に視察
- ・ 第4回会議を2月上旬に開催する。